

いわき市感染症発生動向調査

令和7年第46週(11月10日～11月16日)

○警報

インフルエンザ

※警報・注意報の基準については、市ホームページ内「医療機関のみなさまへ」をご覧ください。

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数		増減の傾向 (過去2週間との比較)
		今週	前週	
1	インフルエンザ	91.33	39.33	増加
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.40	5.80	減少
3	新型コロナウイルス感染症	1.89	2.11	減少

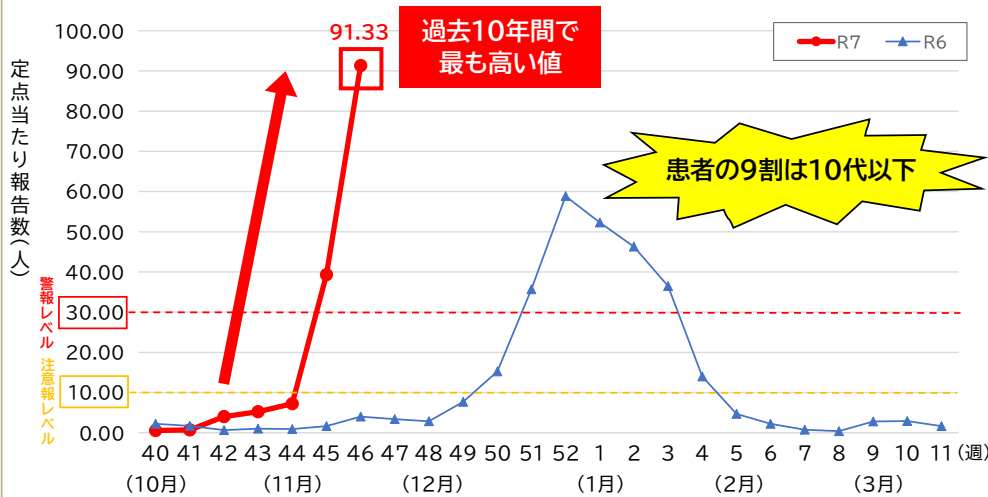
※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

◆インフルエンザ『警報レベル』継続中!◆

本市では第46週(11/10～11/16)の報告数が直近2週間で**約12倍**と急拡大しています。今週の値は**過去10年間で最も高い値**です。10代以下の報告数が全体の**約9割**を占め、**学校閉鎖**、**学年閉鎖**の報告も多くなっています。

いわき市インフルエンザ報告数(R6,R7比較)

乳幼児等、免疫力の低い方は重症化するリスクがあります。
体調管理に努め、楽しい保育・学校生活を送りましょう。【季節性インフルエンザについて】
ホームページ

感染対策のポイント

換気



マスク



体調管理



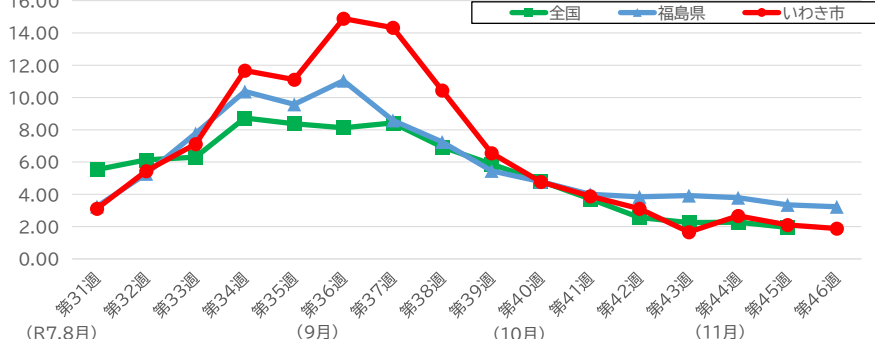
◆マイコプラズマ肺炎に注意◆

本市では今年の報告数が、昨年一年分の報告数を超えています。

市内では若年層の報告が多い状況です。軽症例がほとんどですが、重症化する事例もあるため、
長引く咳などの症状がある場合は医療機関を受診しましょう。
飛沫感染や、接触感染が主な感染経路となるため、基本的な感染対策が有効です。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数の推移

定期的な換気を心がけ、
通院や高齢者施設訪問
の際は、マスクの着用に
ご協力ください。【新型コロナウイルス
感染症かな?と思ったら】
ホームページ【新型コロナウイルス
感染症 基本的な感染
対策について】
ホームページ